

活動における具体的な目的 ～5領域～

健康・生活

食事、排泄、時間や空間の構造化

◎食事や排泄などの基本的な生活スキルを身に付けられるよう支援する。また特性に配慮し時間や空間をわかりやすく構造化する。

- ・スプーンや箸などの食具の使い方を知らせる。
- ・一定間隔でトイレに誘い、排泄の促しとパンツへの切り替えを行う。
- ・タイマーなどを使用し時間の認知、理解を深められるようにする。
- ・室内を区切り、活動、学習、静養する部屋に分け場面ごとに切り替えて使えるようにする。

運動・感覚

運動遊び、屋外活動、創作活動、感覚遊び

◎運動遊びを通して基礎体力の向上、体幹を鍛えられるよう支援する。また手先や体を使った感覚遊びを行うことで五感を育む。

- ・公園あそびを取り入れ、基礎体力を向上させられるようにする。
- ・トランポリンや跳び箱、バランスボールなどを行うことで体幹を鍛えられるようにする。
- ・ブランコなどで全身の感覚刺激を行ったり、粘土やスライムなど様々な感触のものに触れる機会を作り感覚への刺激を行う。

認知・行動

クッキング、創作活動、タイムスケジュールの提示

◎五感の刺激、数や大きさ、色などの様々な概念を理解できるよう支援する。

- ・視覚（どうやって作るのか観察する）、聴覚（作り方を聞く）、味覚（自分で作った物を食べる）嗅覚（様々な食材の匂い）、触覚（いろんな感触の食材や温度などに触れる）と五感を使いクッキングを行えるようにする。
- ・創作活動時には数を数えたり、大きい小さいを見比べることで様々な概念を学ぶ場を作る。
- ・1日のスケジュールを提示することにより行動に見通しを持てるようにする。

言語・コミュニケーション

ルール遊び、日常生活、創作活動

◎それぞれに合った方法で他者に意思を伝えられるよう支援する。

- ・他児や職員と一緒に考えながら創作活動を行い、人との触れ合い方を学び、他者と一緒に考える力、自分の感情や意思を相手に伝えようとすることで表現力が身に付くようにする。
- ・ルール遊びを通して他児や職員と一緒にルールの理解を学習することや勝ち負けの受け入れ、自分がしたことやされたことで嫌なこと、嬉しいことを受け入れて相手の気持ちを考えられるようにする。

人間性・社会性

屋外活動、買い物体験、集団活動

◎他児や職員との関係構築をしたり、集団への参加を支援する。

- ・屋外活動で様々な場所に行くことでいろいろな人と出会い、交流を深めることで安定した関わり方を取得する。
- ・買い物に行く際は、お店の中でのルールを守ることや様々なものに興味、関心を持てるようにする。